



インレイカイラクユウヘイアパート

淫霊快樂 幽閑アパート

霊姦快樂責め
徹底焦らし
快樂墮ち

漫画
71P

家に
幽霊が
出る？

信じられ
ないよね
こんな話

信じるっていうか…
ずっと酷い顔色
してると思ったら

うん……

それで
寝不足なの？



心配して
たんだよ

大学でも
寝てるって
皆言ってる

ご
ごめん…

アタシは
ホラー苦手だから
詳しくないけどさ

具体的にどんな
被害があるの？

ポルター
ガイスト
とか？

それは……

言える訳がない

私が毎晩

幽霊に
何をされてるか
なんて——

初めての
一人暮らしで
選んだアパート

それなりに綺麗で
それなりに家賃も
お手頃で

あの日までは
とても
気に入っていた

ガ
チ
ツ

それは

金縛りから
始まった





う…
動かない

金縛り…
久々に
なったなあ

落ち着いて、
深呼吸して……



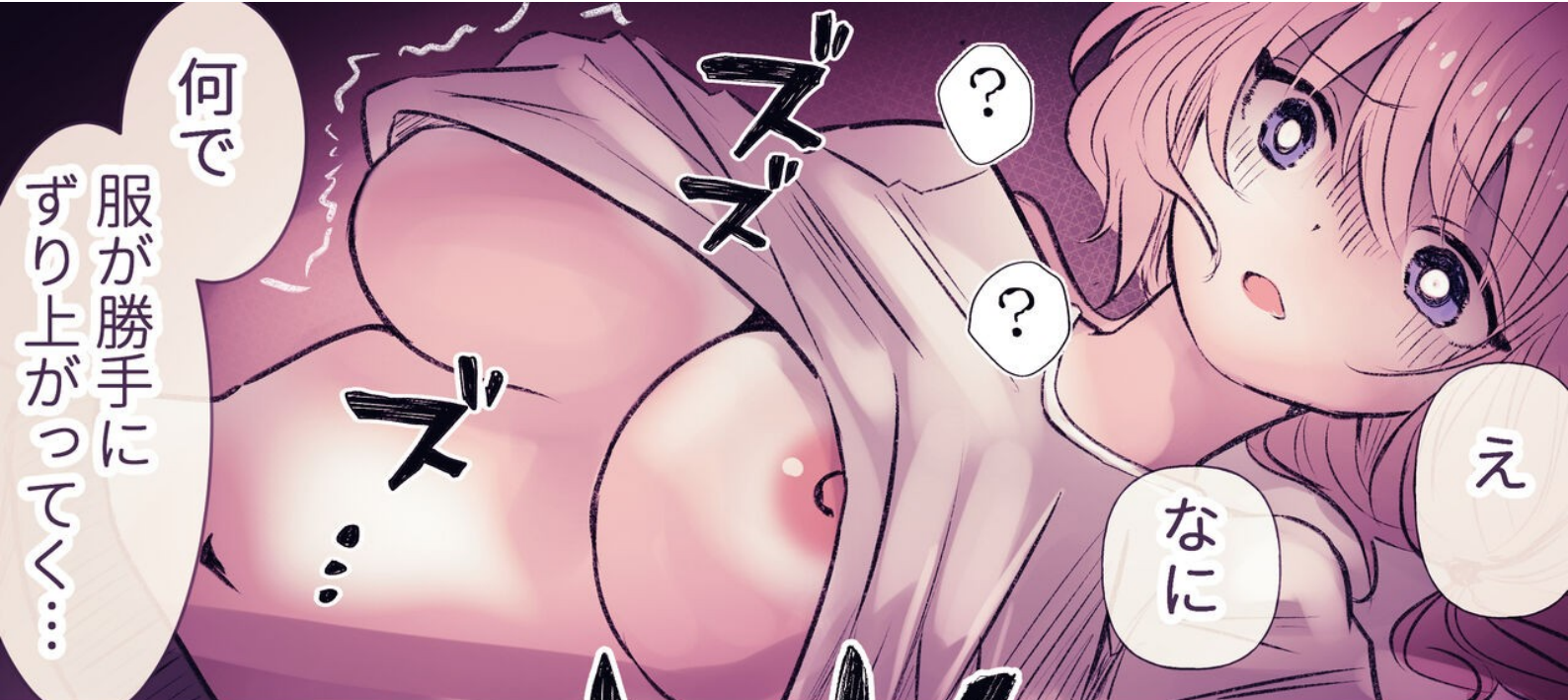
っ……!?

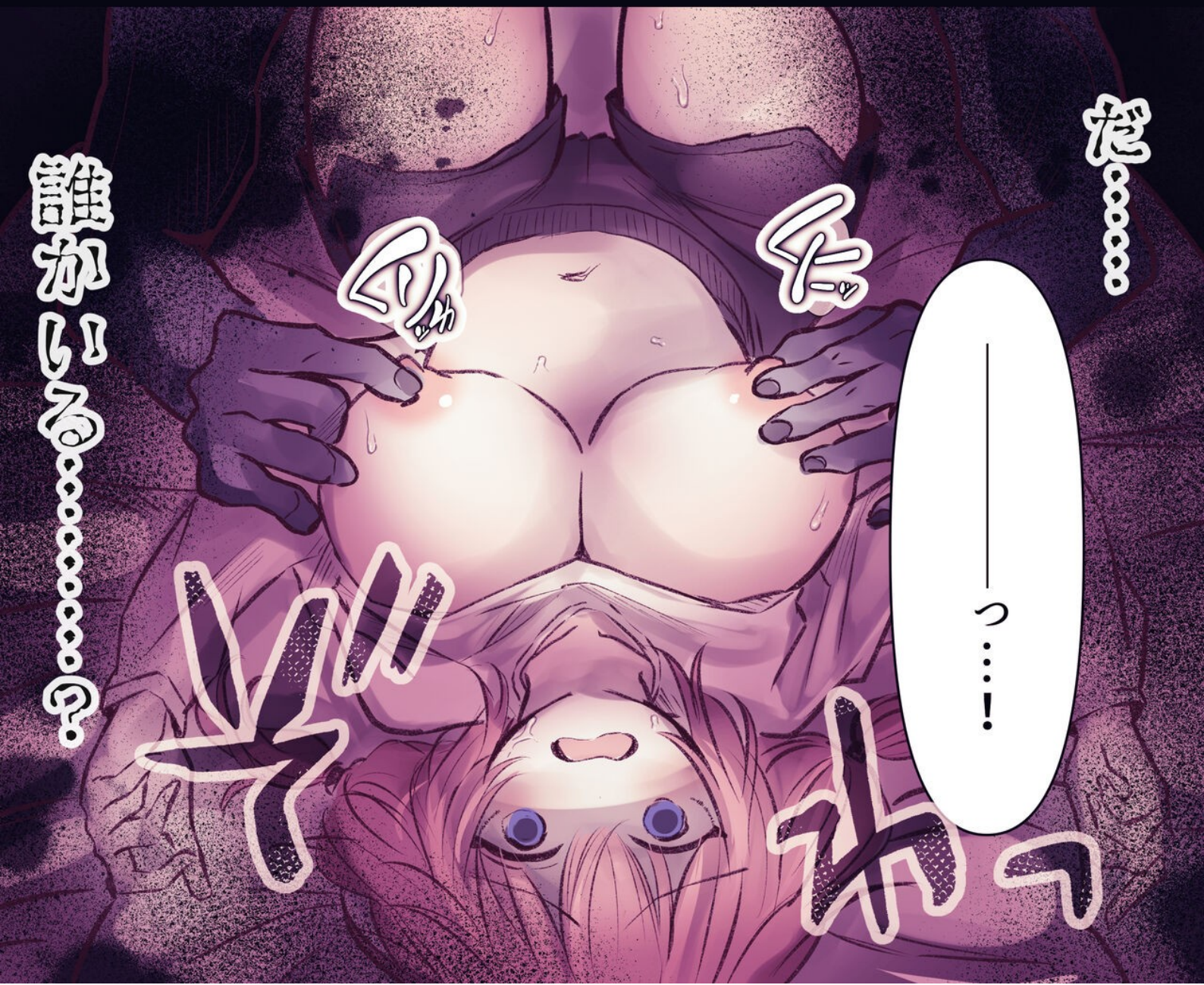
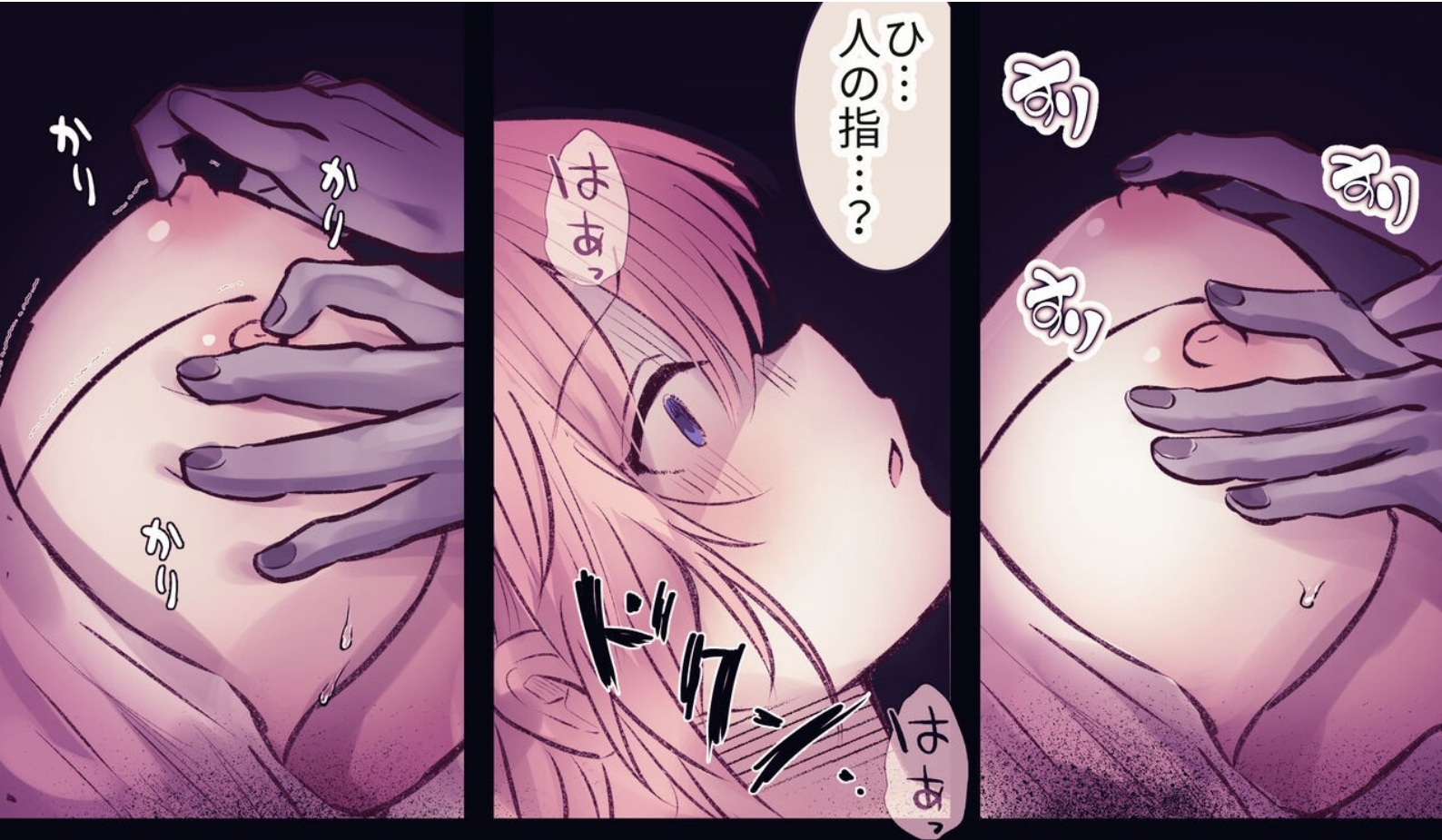
すす
ふに



……?

ふに
ふに





いや
そんな訳

疲れてる
のかな

サワ
サワ

そ そういう
夢とか
錯覚とか…?

十二す

十わ

でもシャツは
勝手に…

サ
ー
リ
ャ
ン

待つ……!!

!

ぐい

ぐい

何これ

ムッ

ムッ

ほんとに
何!?

ていうか

はッ

ビク

ムッ

ムッ

ムッ

ッは...

ナニ

ナニ

ビク

下も
脱がせたのに

なんか
胸ばっかり...

ムッ

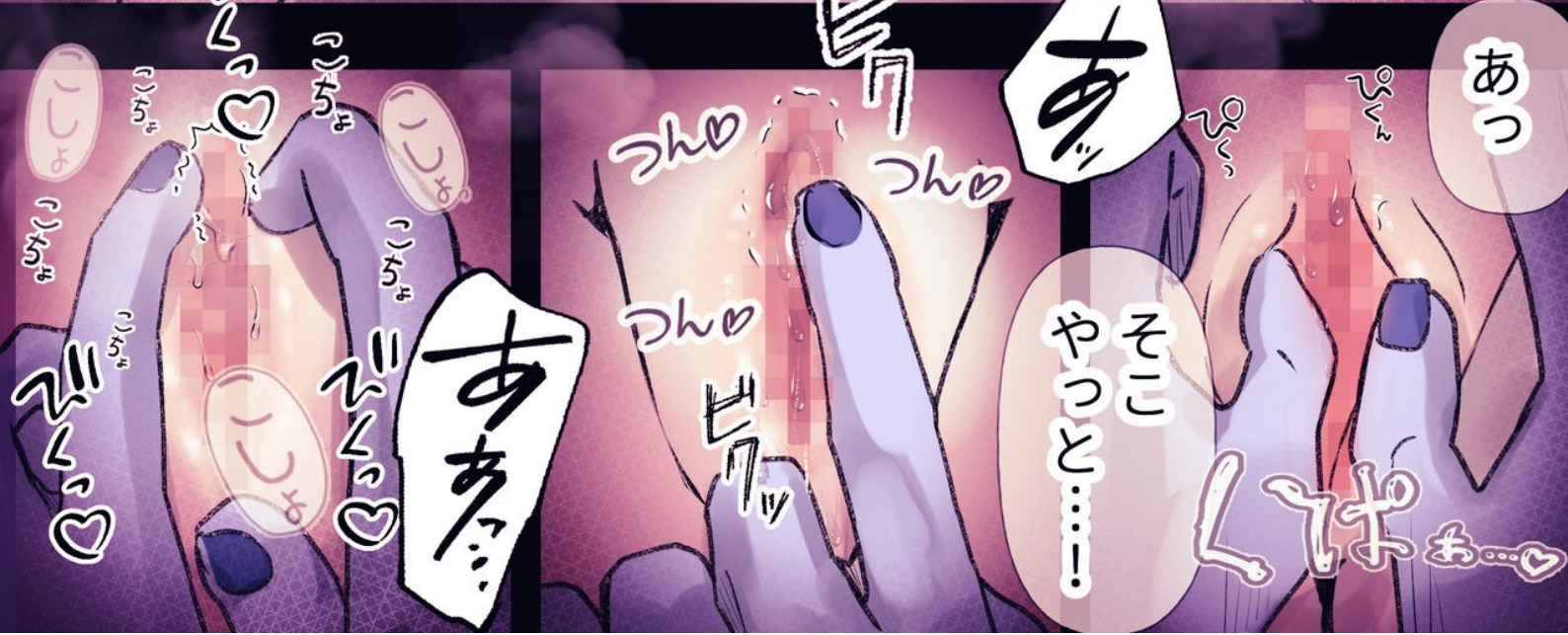
スリ

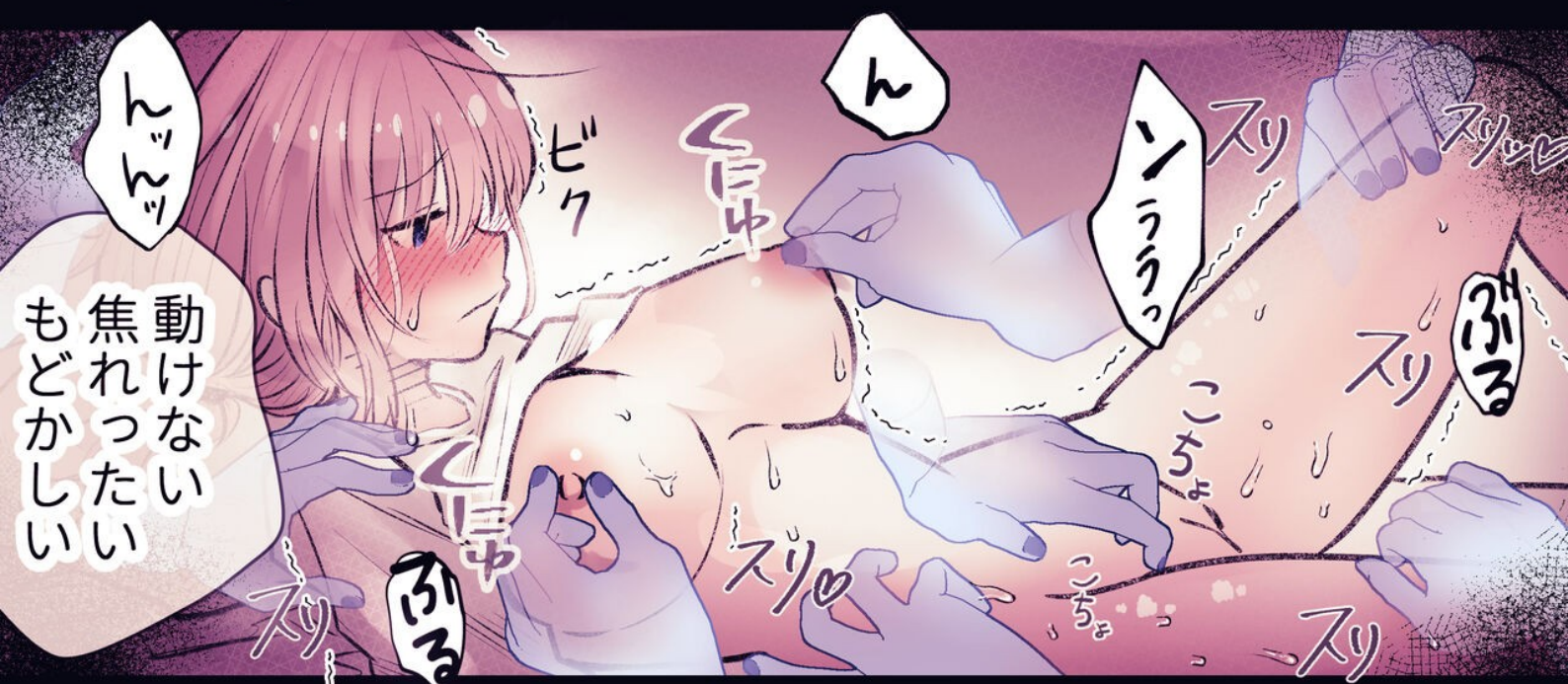
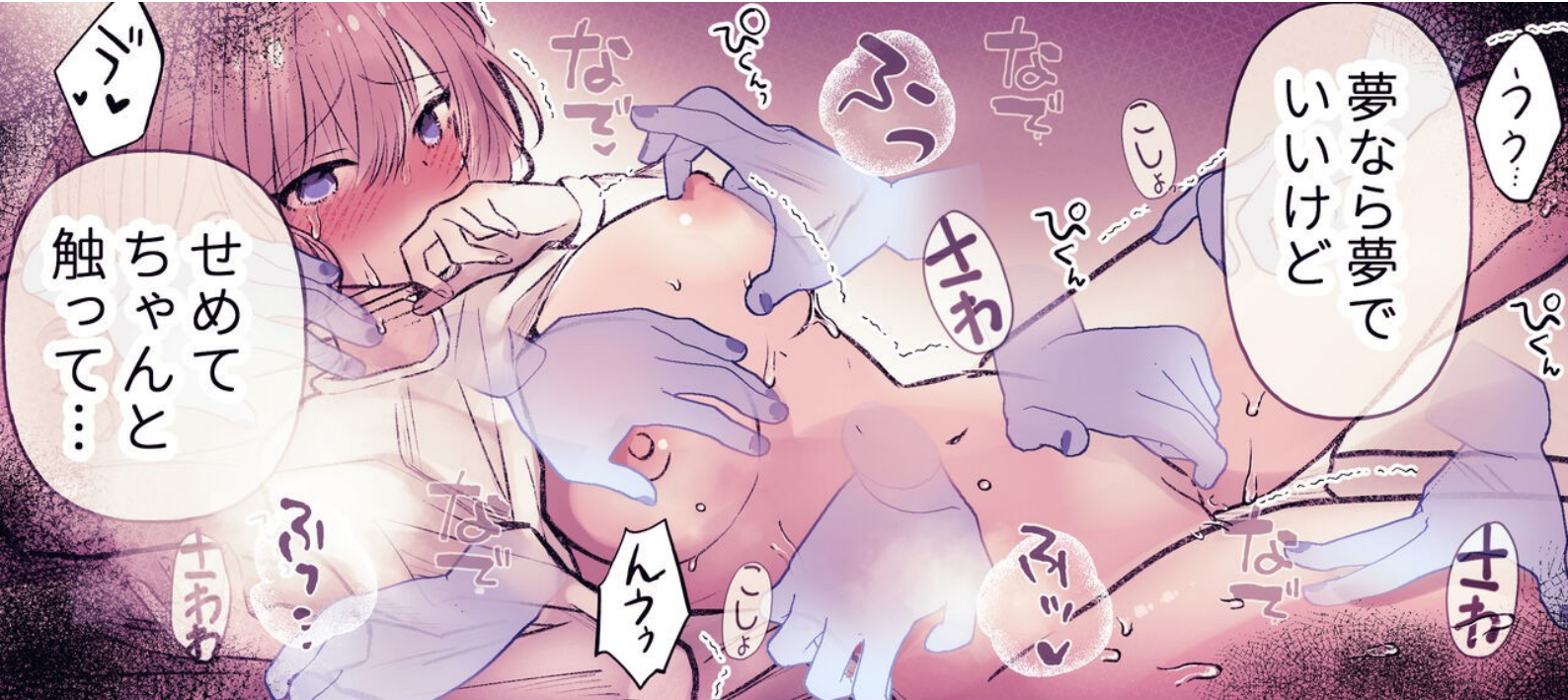
スリ

っはあ...

ムッ

あ







それは
夜が明けるまで
何時間も続いた

ぐんぐん...

朝日が昇ると
不思議な手たち
は消えて

私は狂ったように
自慰に耽った

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

そのまま連続で
5回やって

下着もつけないまま
泥のように眠った...

はー

あー

はー

はー

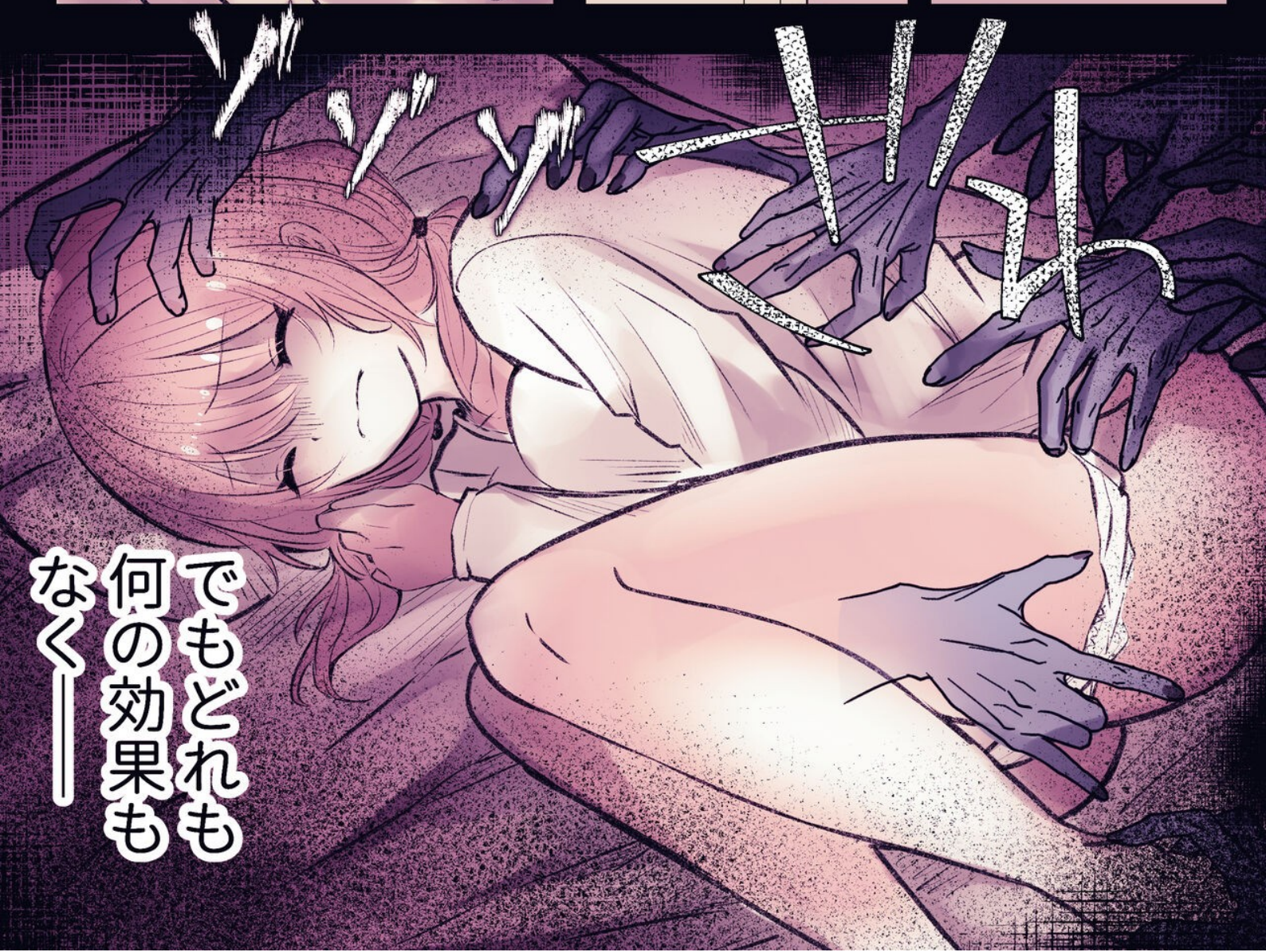
はー

はー

はー

それが
何夜も続き

流石に
ただごと
ではないと
気付いた

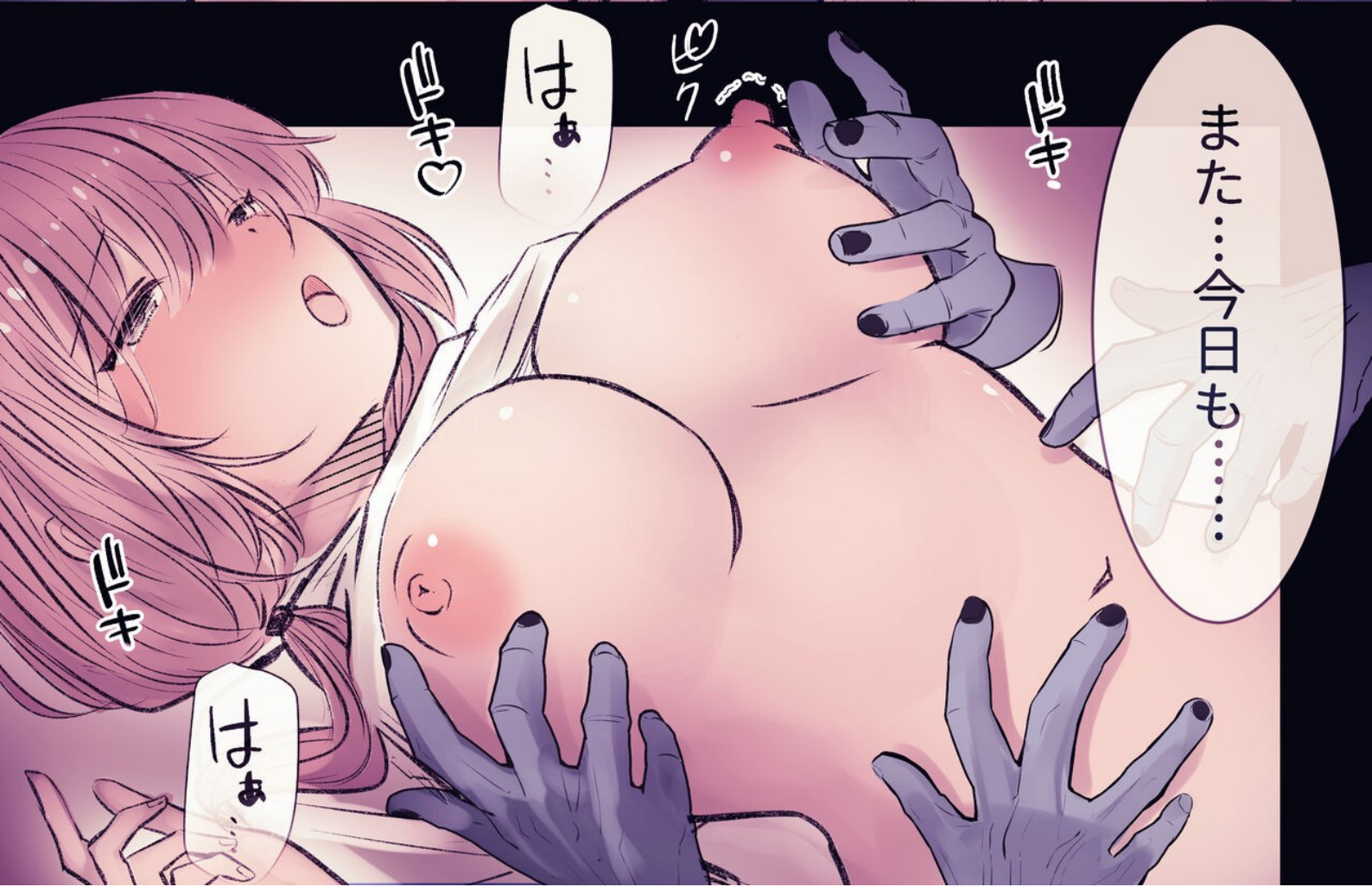




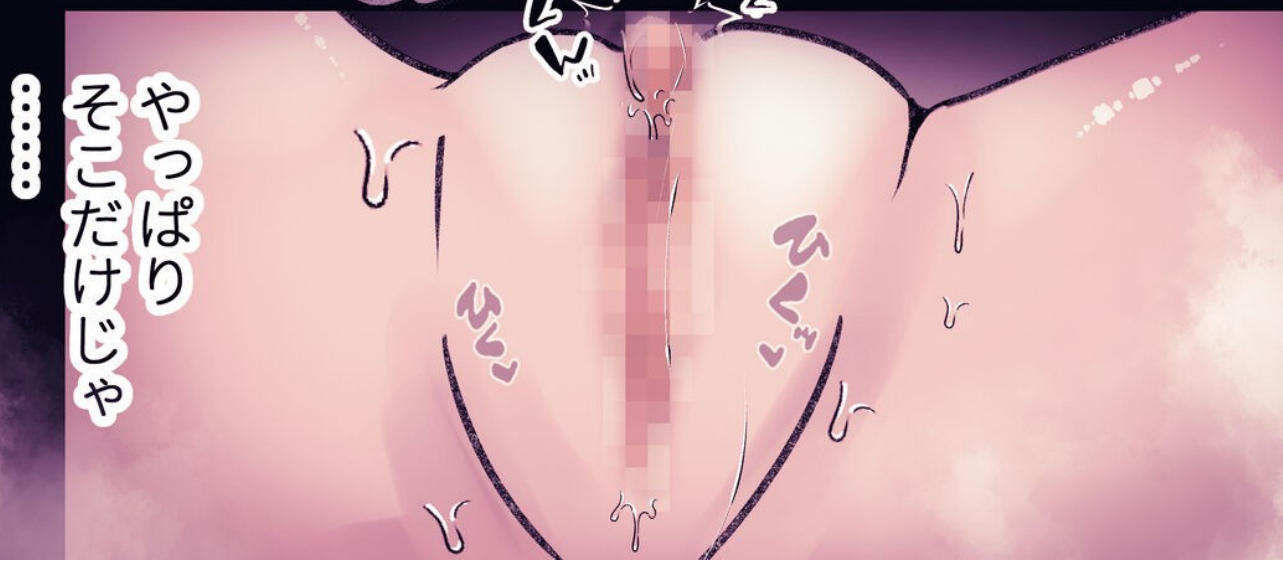
何で
私なの……っ



やめて……
お願い



また……今日も……





だめ♡

あゝ♡

全然

我慢

できないっ

あゝ♡

ゴシゴシ

ゴシゴシ

あゝ♡

止められない……!

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

指が勝手に
動く……っ

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡



ほんの少しも
耐えることも
出来ずに

惨めに
オナニーを
始めると

にゃ
にゃ

嘲笑ってる……

その悪意に

見えない誰かが
じっと
見下ろしている
気配がした

この現象が
夢や気のせい
なんかじゃないと
確信してしまう

私にー
私の部屋には

たちの悪い
幽霊が
憑りついている
のだと

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

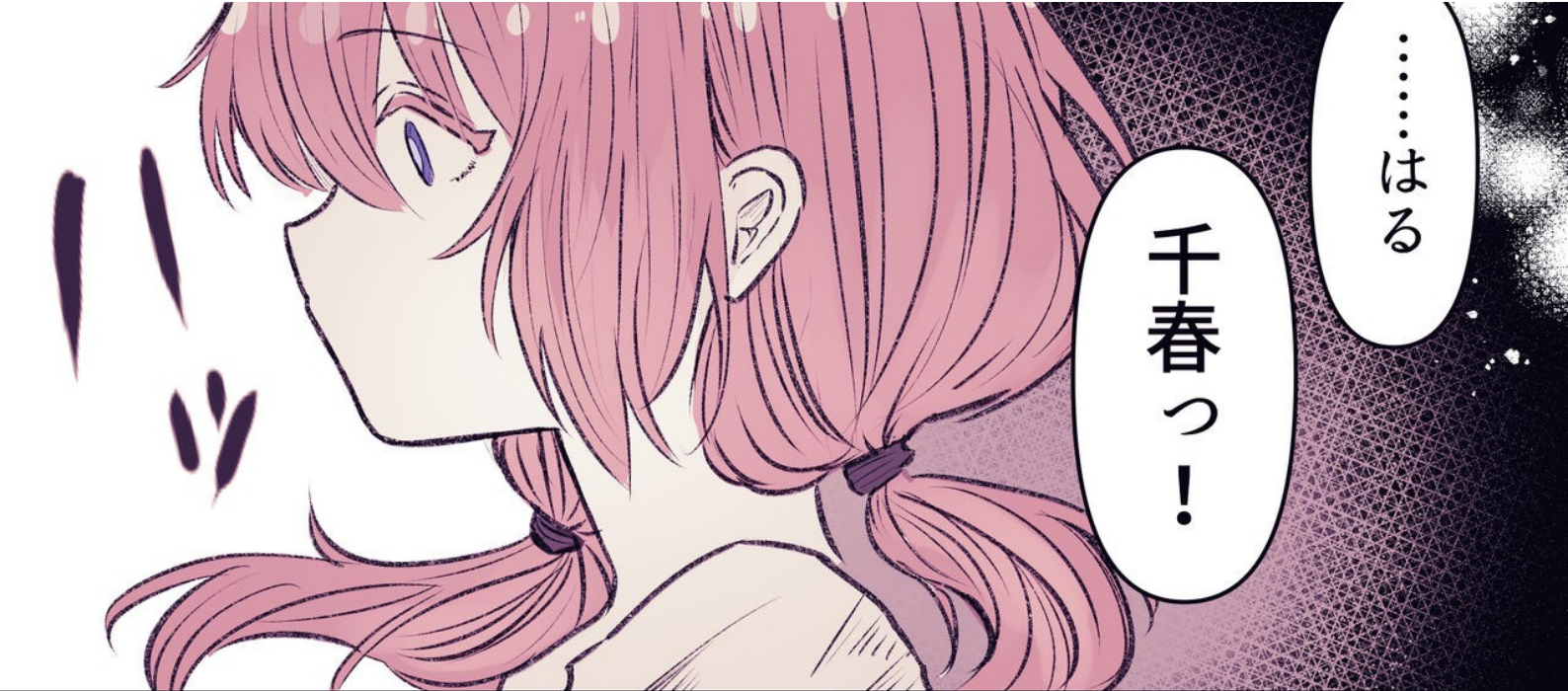
はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡





……はる

千春っ！



ごめん

ぼーっと
しちゃって

いいけど……
そんなに
深刻なの？

幽霊の
被害

う……うん

ちよつと
気味が悪い
くらいで



言えるわけがない

毎晩朝まで
触られて

何回も
イってるせいで

今もずっと
身体が
疼いてるなんて

とき

しん

しん

うず

とき

とき

うず

うず

引っ越し
たら？

実家に
頼るとかさ

考えてるけど
まだお金が…

家族の反対を
押し切ったの
一人暮らしだから

今更
頼れない…

じゃ
うち来なよ

部屋いっぱい
余ってるし

え!?

じゃあ…

バイトして
新しいところ
借りれば
いいじゃん

み…

美奈子おおう

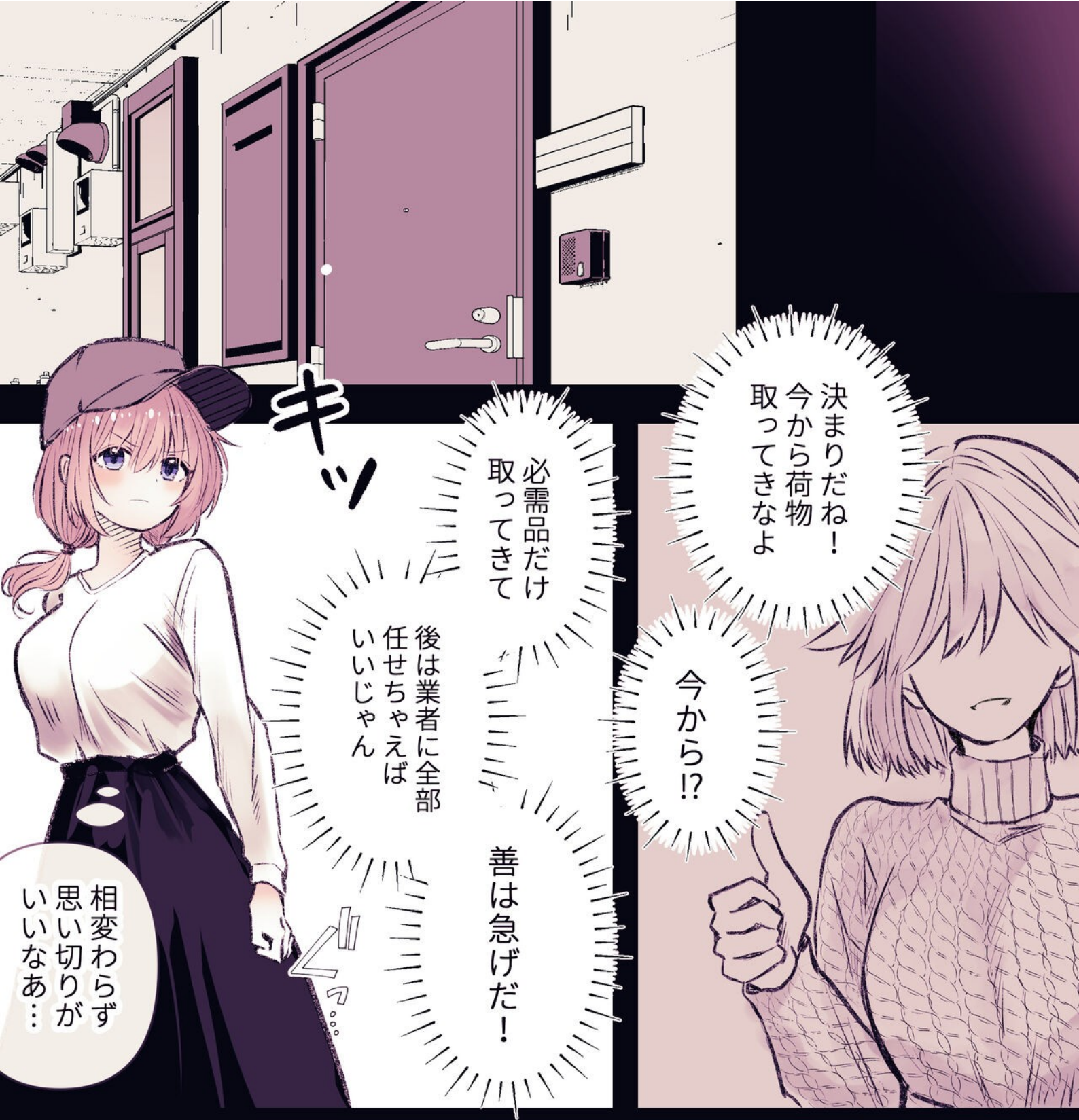
ありがとう
~~~~~!!!

がばっ

居候中は  
アタシの言うこと  
何でも聞くこと!

うん!!





決まりだね！  
今から荷物  
取ってきなよ

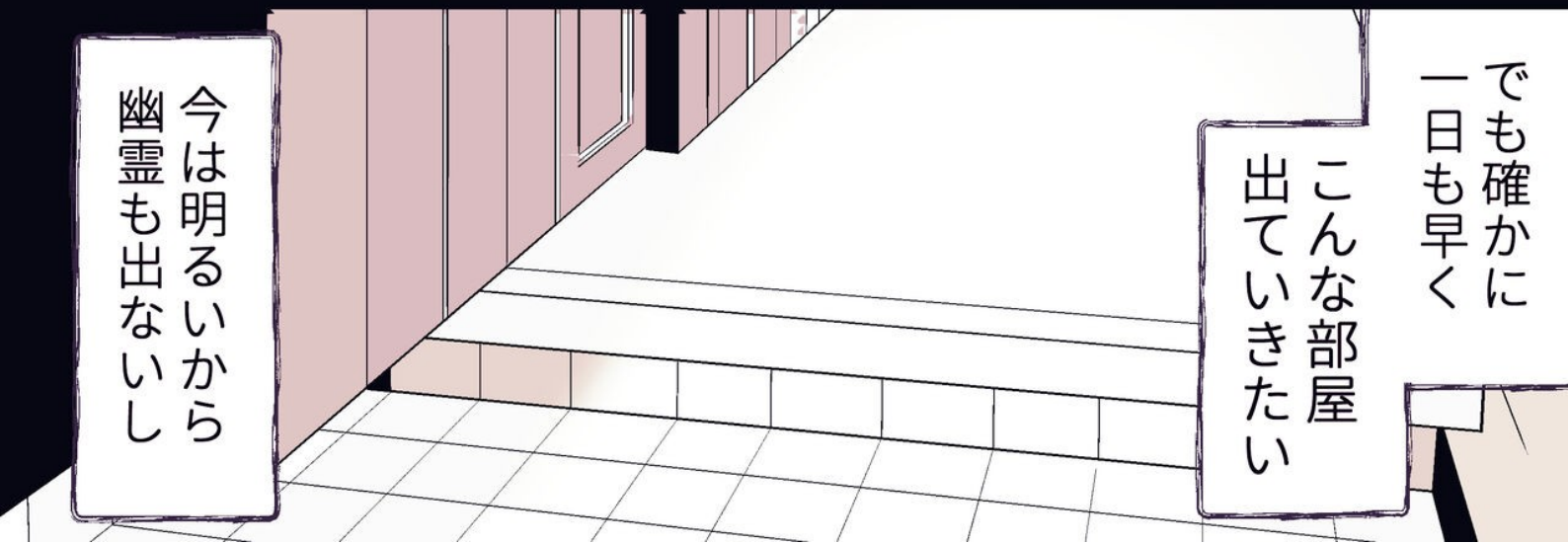
今から!?

必需品だけ  
取ってきて

後は業者に全部  
任せちゃえば  
いいじゃん

善は急げだ！

相変わらず  
思い切りが  
いいなあ…

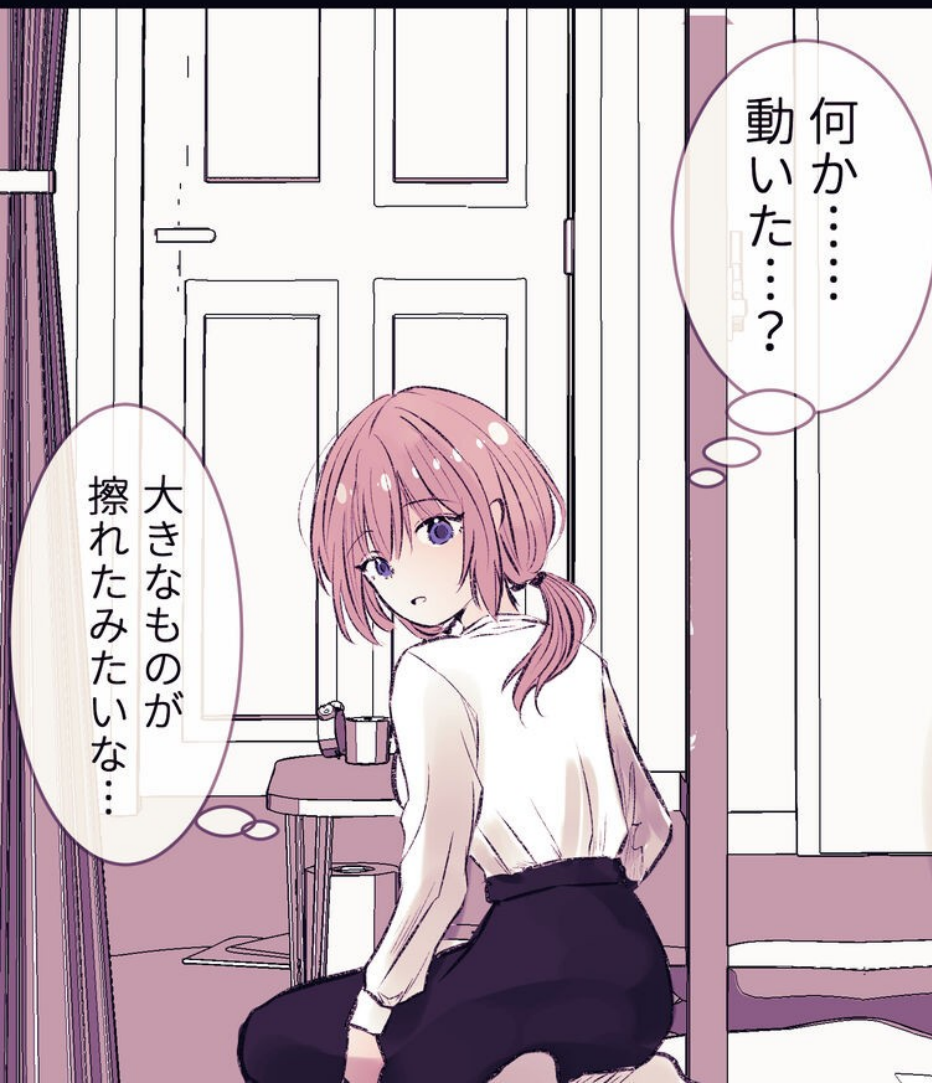


でも確かに  
一日も早く

こんな部屋  
出ていきたい

今は明るいから  
幽霊も出ないし









もっ  
もっ  
もう出よう！

ばっ!!

たたたた

どうしても  
必要なものは  
買えばいい

それより  
今はとにかく  
一刻も早く

この家から  
出たい……!!



ガ  
チ

あ……  
あれ………?





あ……………

開かない……………



おかしいな  
何でだろ

鍵かかって  
ないのに  
何で……………

ガチャ

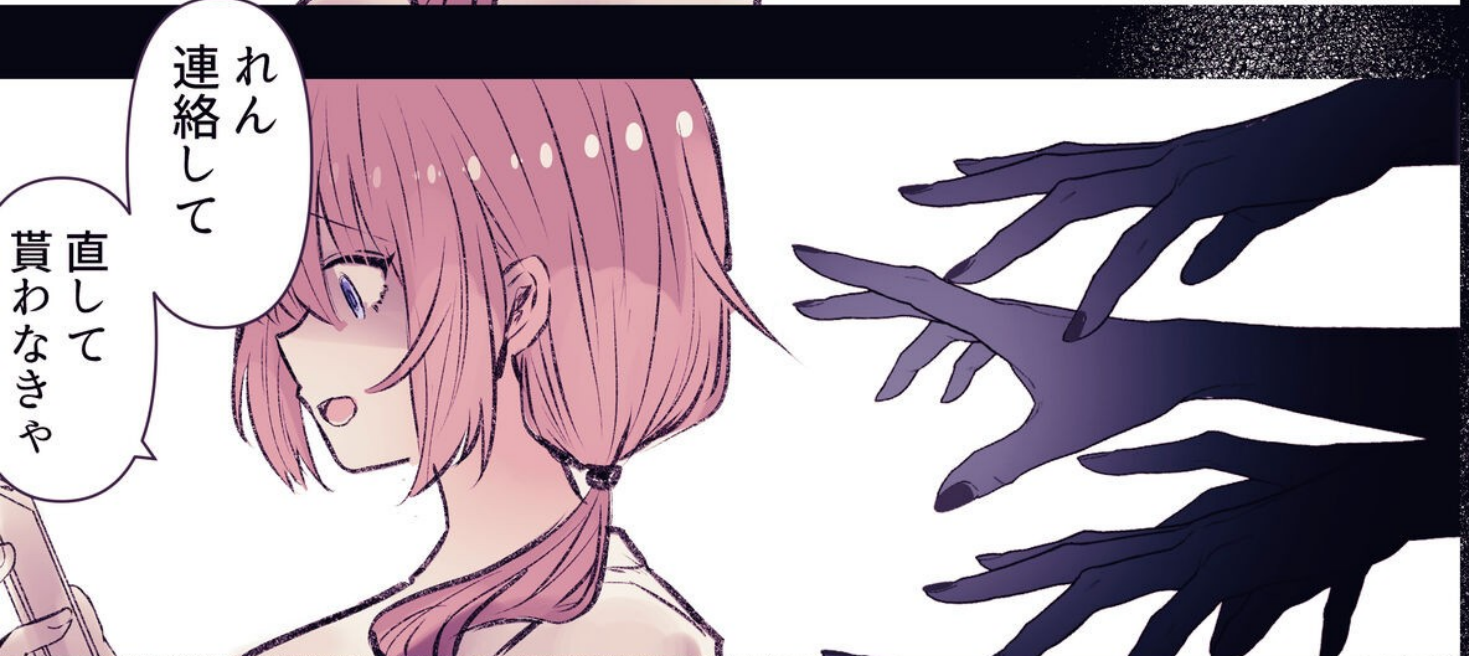


こっ  
壊れちゃった  
のかな

美奈子に――

あ 違う

先にドアの  
修理業者に



れん  
連絡して

直して  
貰わなきゃ







昔から  
自分の身体を  
触られることは  
よくあった





…っ

ぞゅっ



変質者に  
よく狙われた

すっ

すっ



ガッ

やめ……

やめて下さ……

ゴッ

ガッ

大人しくて  
地味なのに

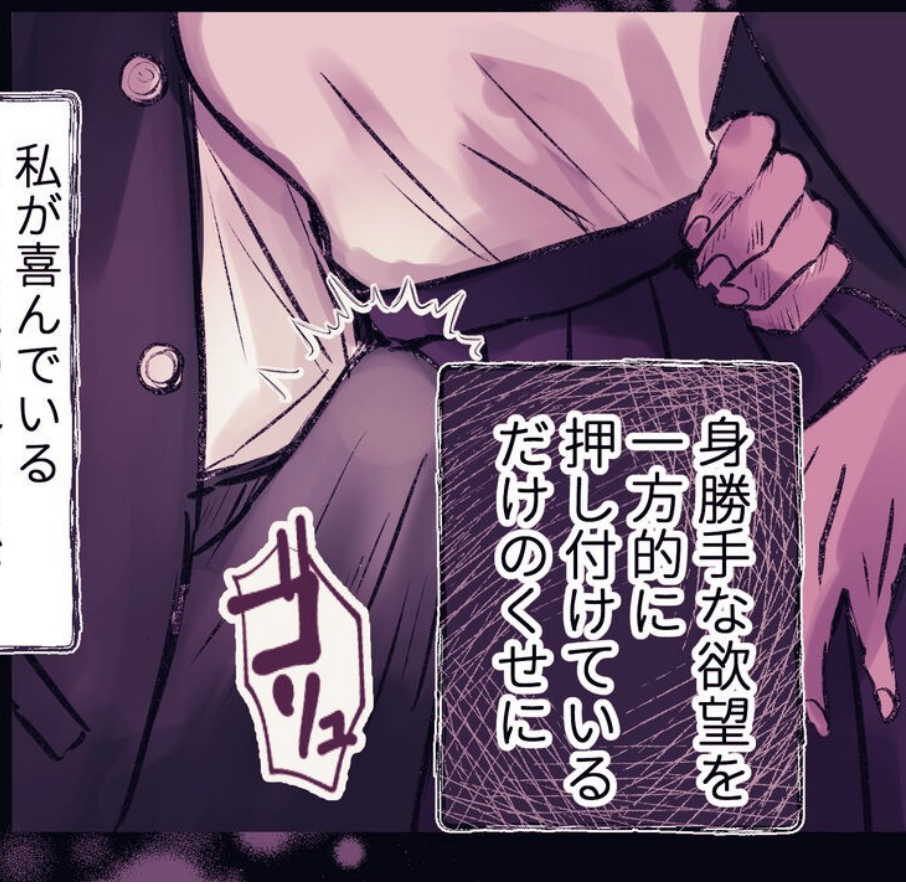
胸ばかり  
大きかった  
せいか



感じてる？  
いいでしょ？

私が喜んでいる  
ように思われるのが  
たまらなく嫌で……

気持ち悪い  
気持ち悪い  
気持ち悪い



身勝手な欲望を  
一方的に  
押し付けている  
だけのくせに

サッ



だから誰かに  
触られるのが  
すごく抵抗が  
あった

性的なことが  
苦手だった

ぽお

そのはず  
なのに――







ここ…  
私の部屋……？  
暗い……

服…  
着てない…？

そうだ

思い出した

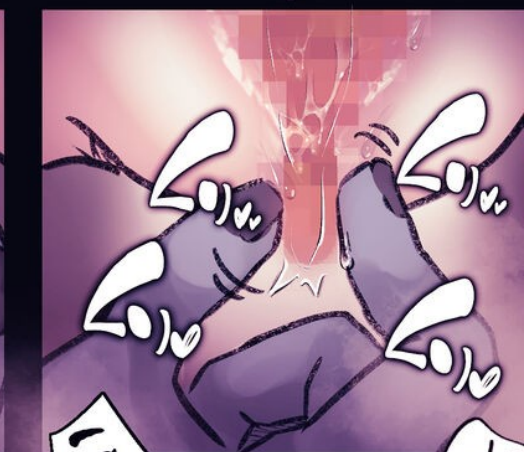
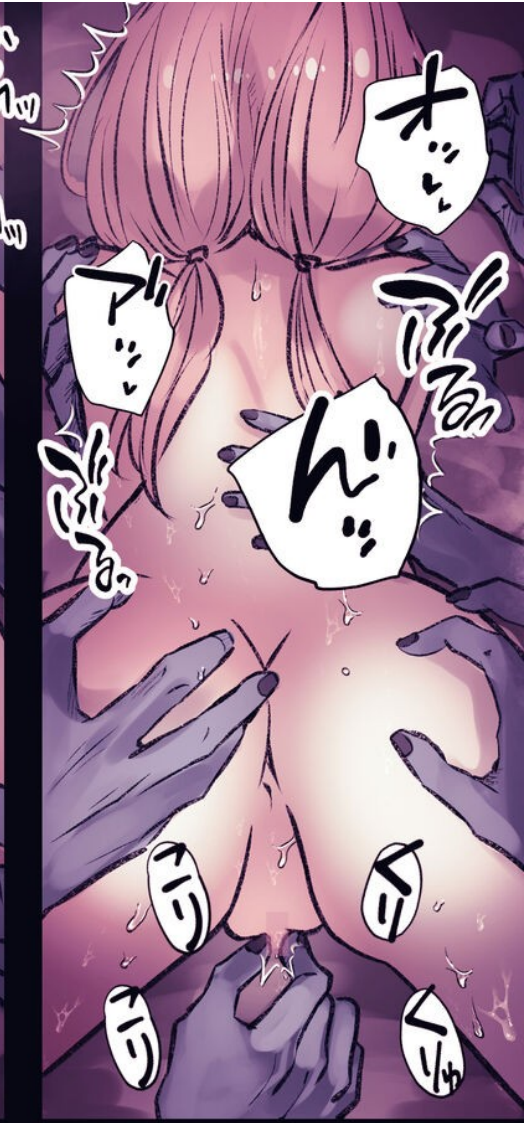
玄関から  
出ていこうとして

捕まっちゃったんだ…！













だって  
ずっと  
焦らして  
きたのに

直接  
触って……



こんな  
簡単に

いつちやつた……





ヌル...

あ...?

え...?

ひゅん

うあっ!?

く

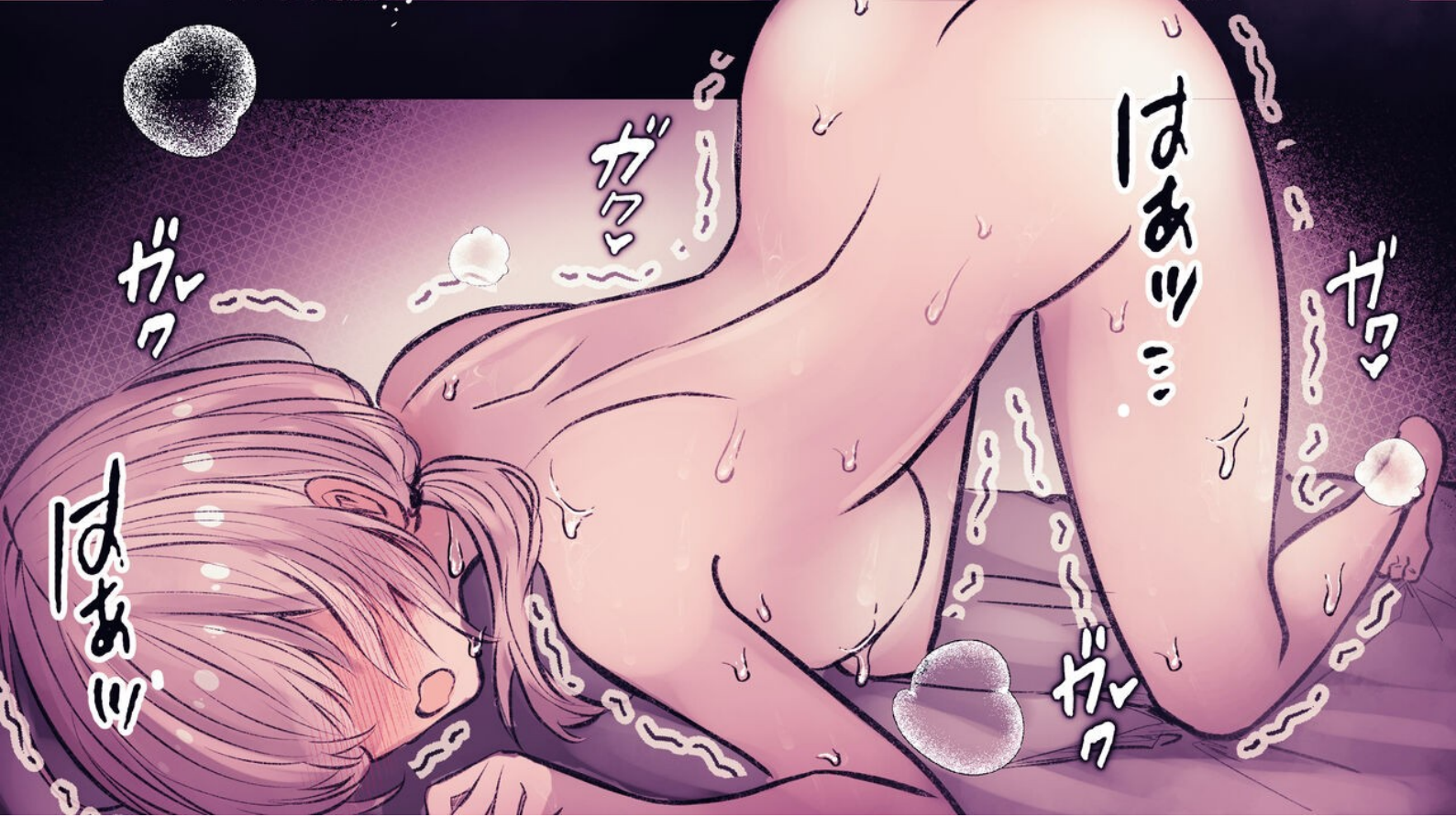
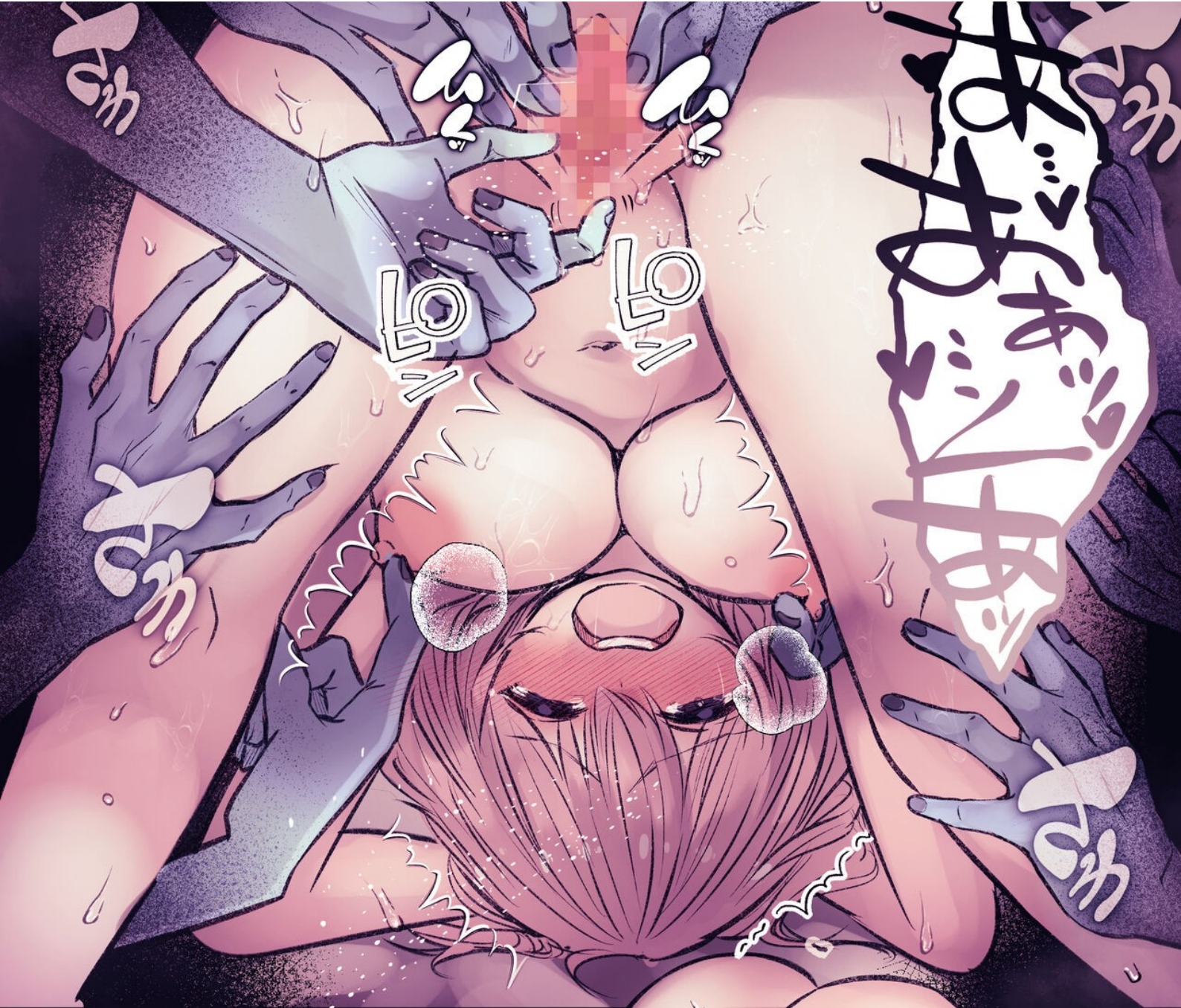




















今までは  
朧気にしか  
見えなかった  
けど

鏡越しだと  
ハッキリ  
幽霊が――

男の人の  
霊が……

ツ……  
!!!



あ

ず……

硬いの

ず……

当たって









おっぱい

おっぱい

どき

はっ





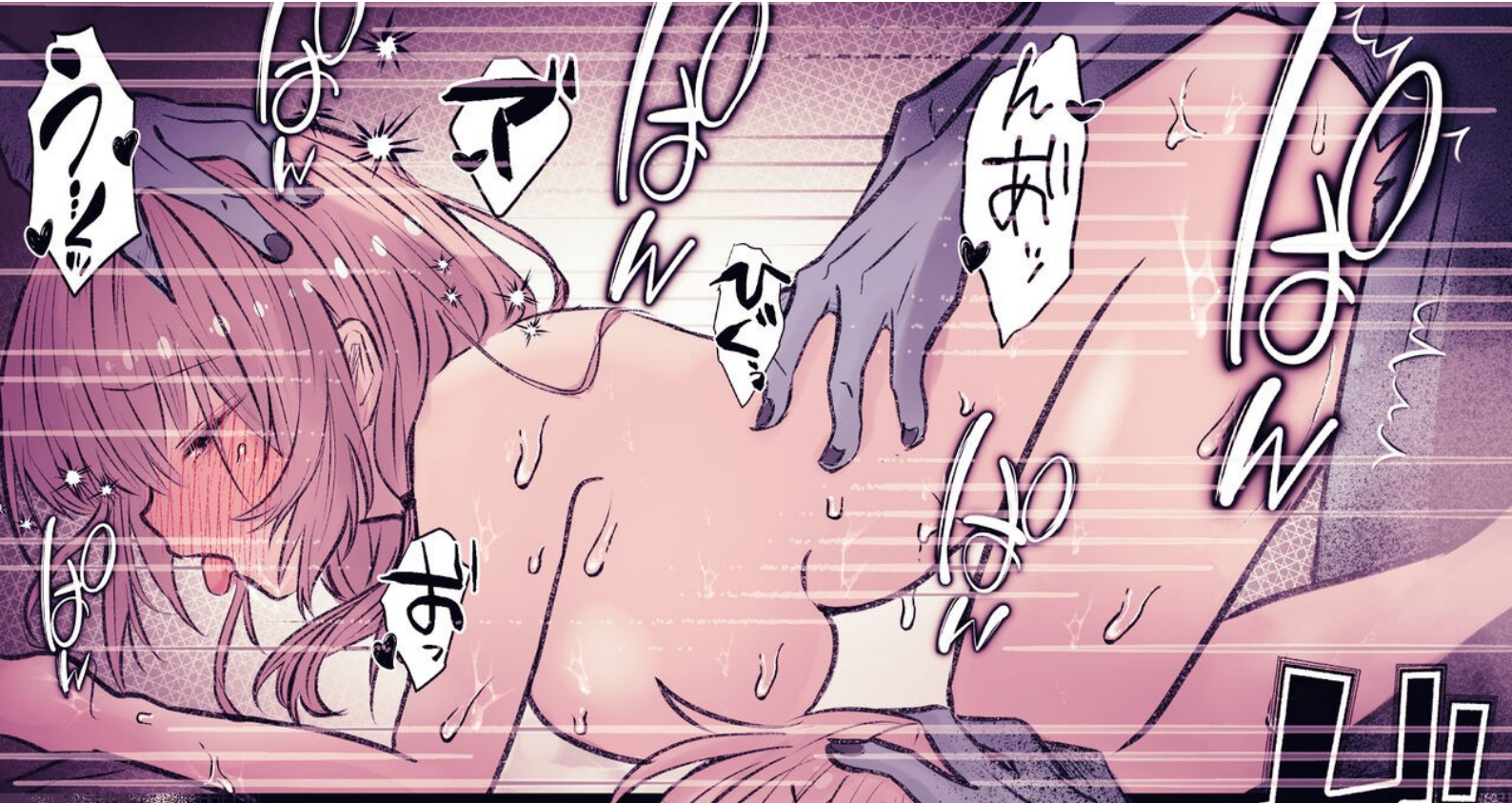




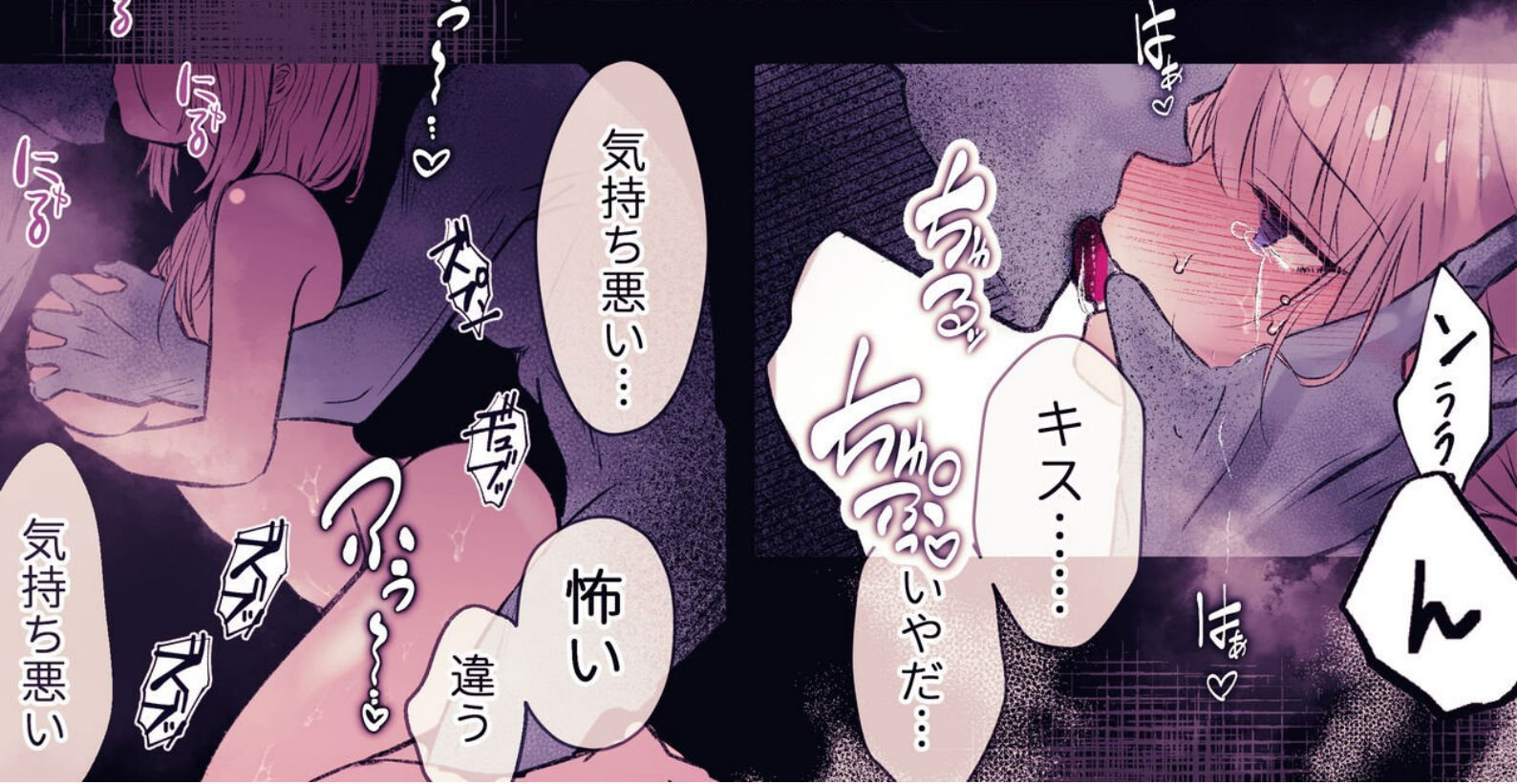








んぐっ



気持ち悪い…

怖い

違う

キス…

いやだ…

気持ち悪い









助け

助け





駄目だ

やっぱり  
出ない

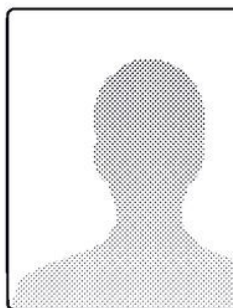


発信中

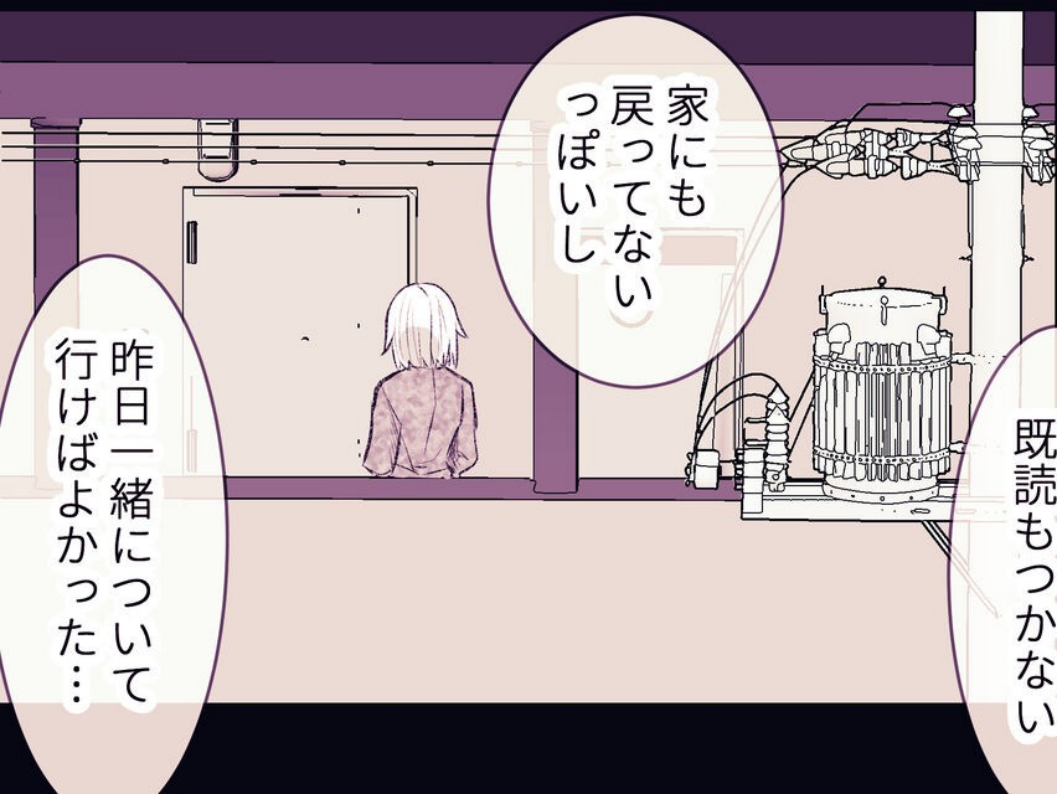
篠原 千春

■■■■-■■■■-■■

発信中...



終了



家にも  
戻ってない  
っぽいし

昨日一緒に  
行けばよかった...

メッセージに  
既読もつかない



1時間くらいで  
戻るな

帰ってきたら  
入居祝いに  
ぱーっと飲みにいって!

既読



まだかかりそ?

ちはる一



千春…

どこ  
行っちゃった  
んだろ……

あれから





結局  
何度試しても

玄関のドアは  
決して  
開かなかった

窓の向こうは  
明るくて  
いつもの日常が  
流れてるのに

ベランダや  
窓から脱出  
しようとしても

ガラスには  
ヒビすら  
入らない

誰にも  
私の声は  
届かなかった

どれだけ  
声を張り上げて  
助けを求めても



いつまで経っても  
食糧品は腐らず

不思議と  
空腹は感じない

水の一滴も  
飲まなくても  
体調に変化もない

ネットも  
テレビも  
見れたけど

こちらから  
発信することは  
出来なかった

完全に  
外の世界と

切り離された  
暗い部屋の中で

……  
何だか不明の……

昼夜の感覚が  
なくなるほど

……都内……  
未明……  
……情報を……  
……情報……

犯される日々が  
続いた……



目的は  
何なのか

あー

あー

おはおはおは

ぐんぐん

ぐんぐん

何も分らないし  
何も考えられない

幽霊  
なのに

確かに中に何かを  
出されている感触

生暖かい……

あー

それが子宮に  
注がれる度

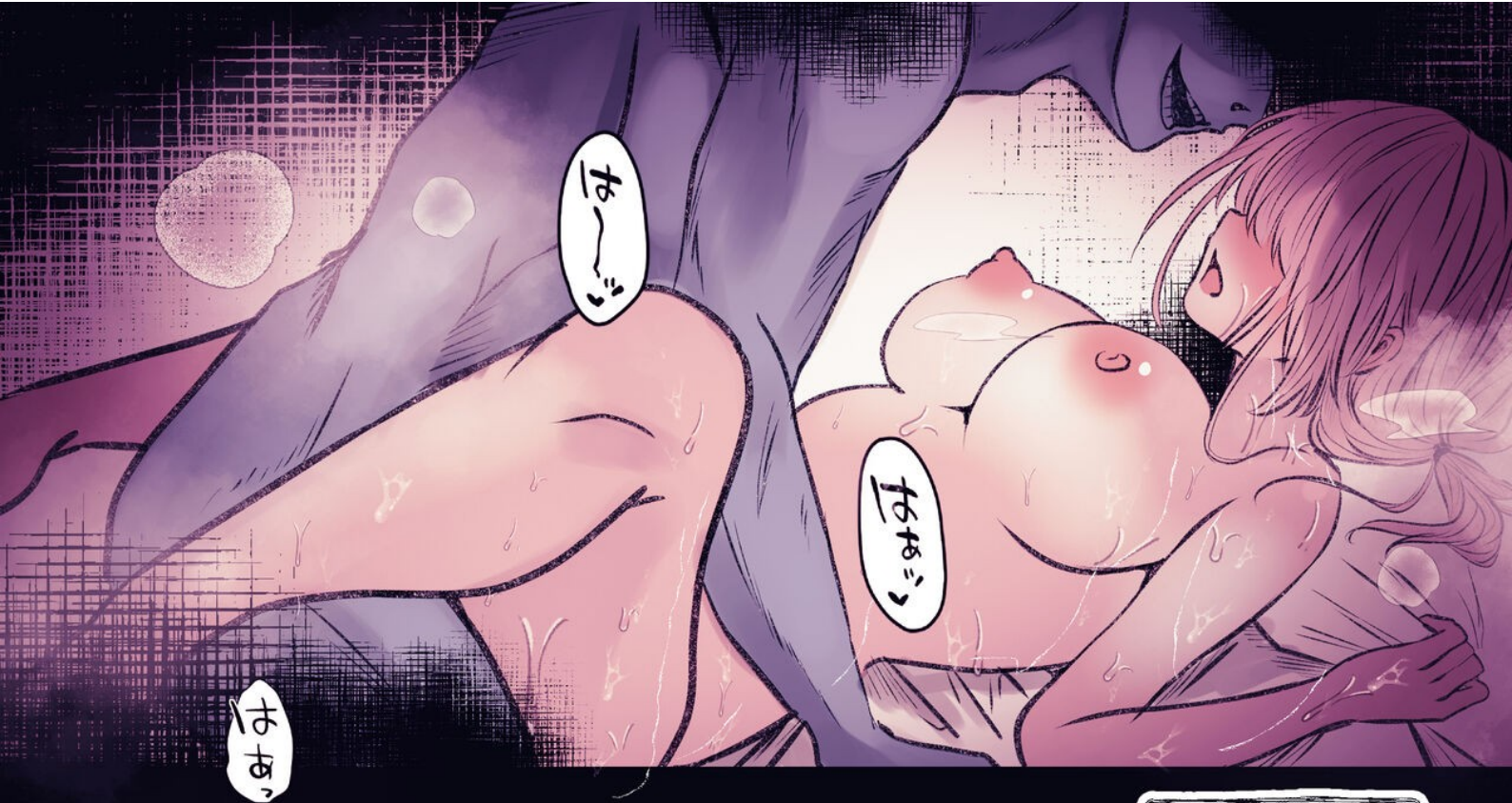
正気を失って  
いくのを感じる……

いーいーやあ

あー







はぁっ

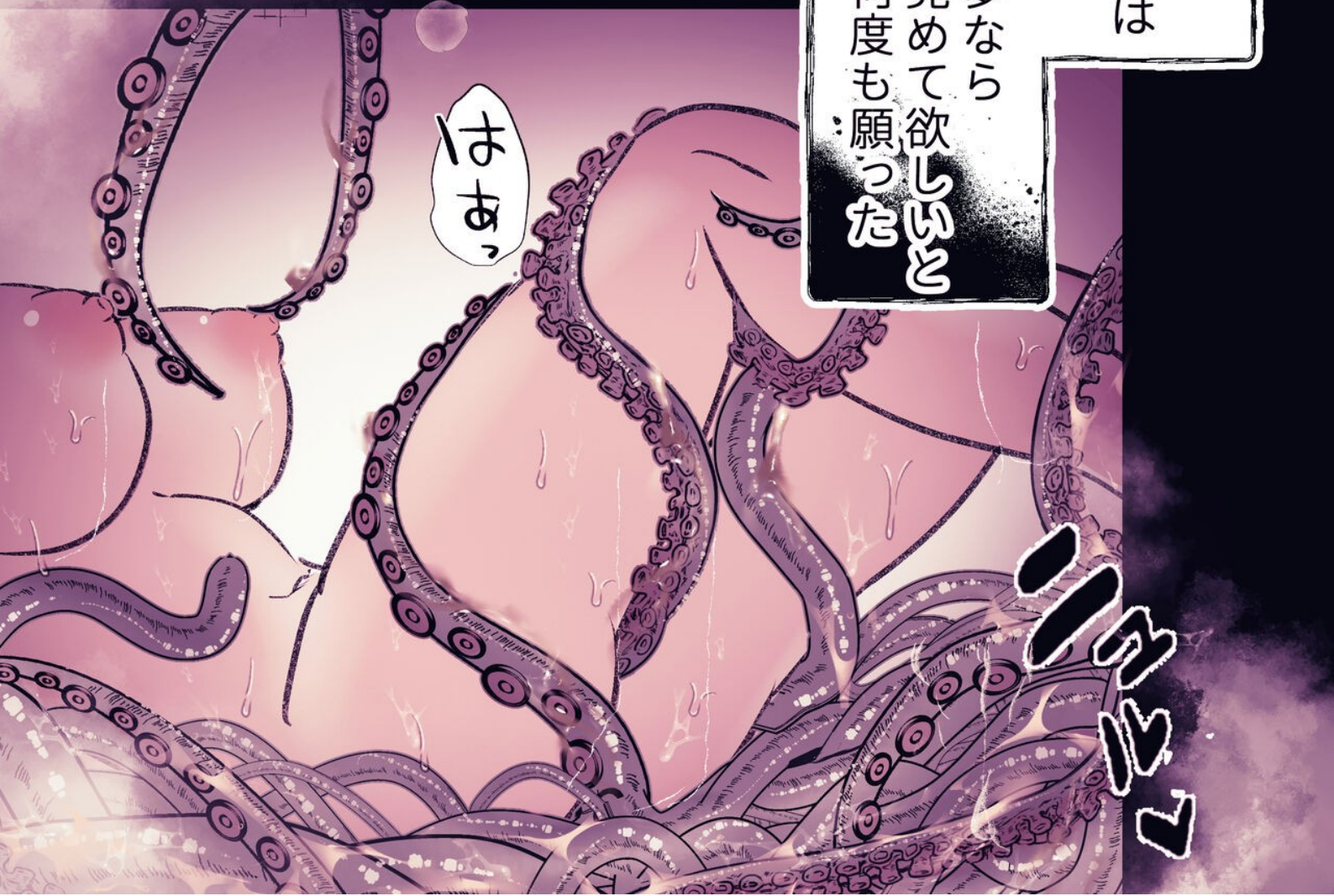
はぁっ

はぁっ

意識が  
遠くなる前は  
いつも

夢なら  
覚めて欲しいと  
何度も願った

はぁっ



はぁっ

はぁっ

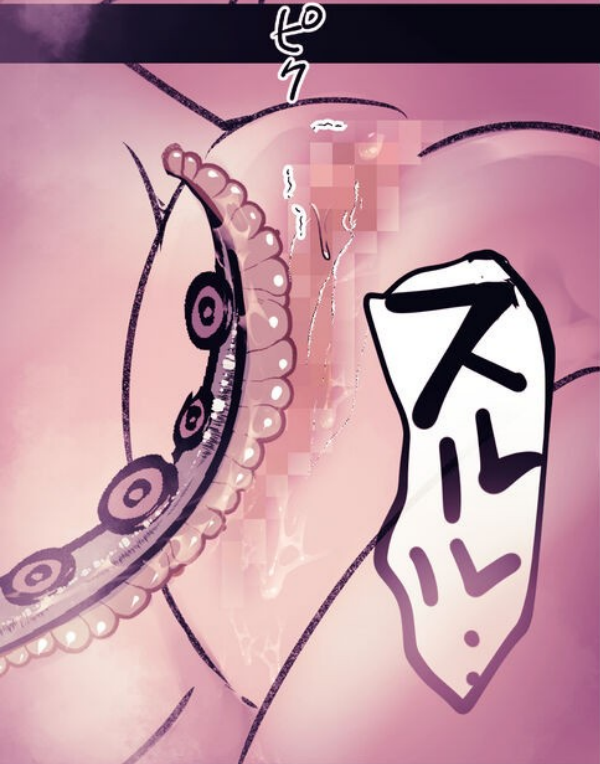


現実  
は  
夢  
の  
中  
で  
さ  
え

彼  
ら  
は  
私  
を  
逃  
が  
し  
て  
は  
く  
れ  
な  
か  
っ  
た











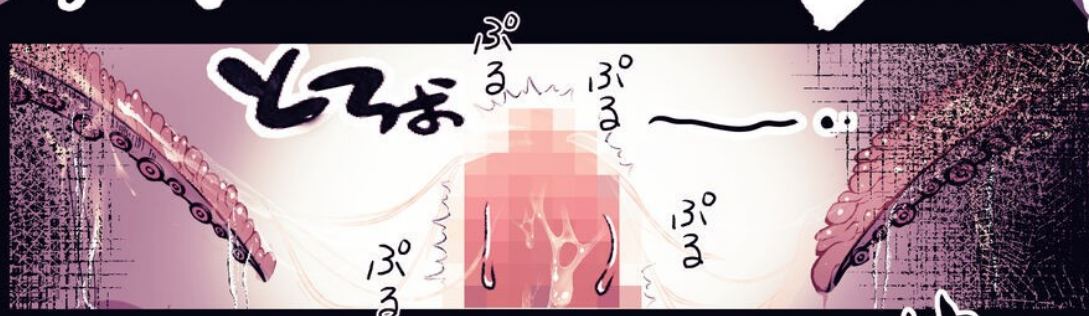
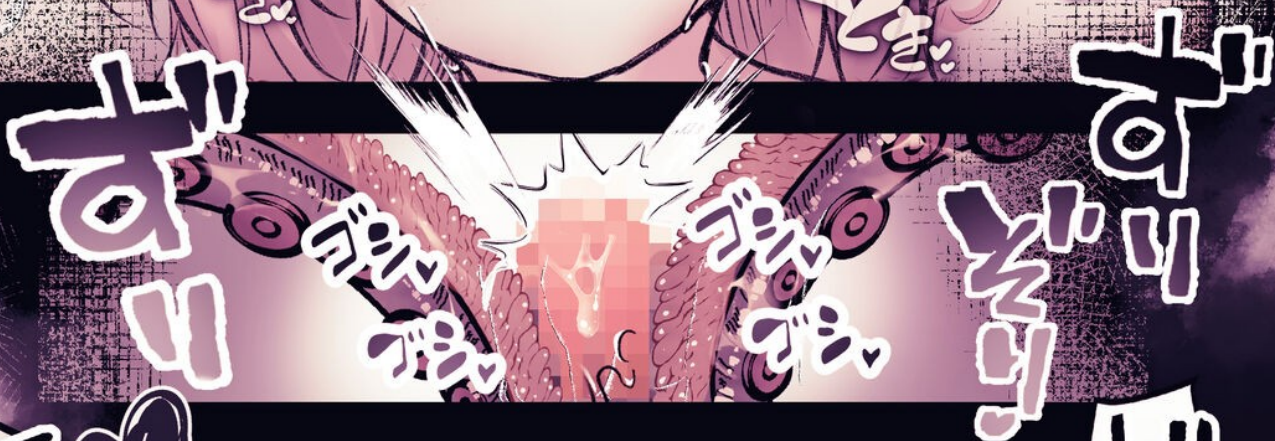








おはよう



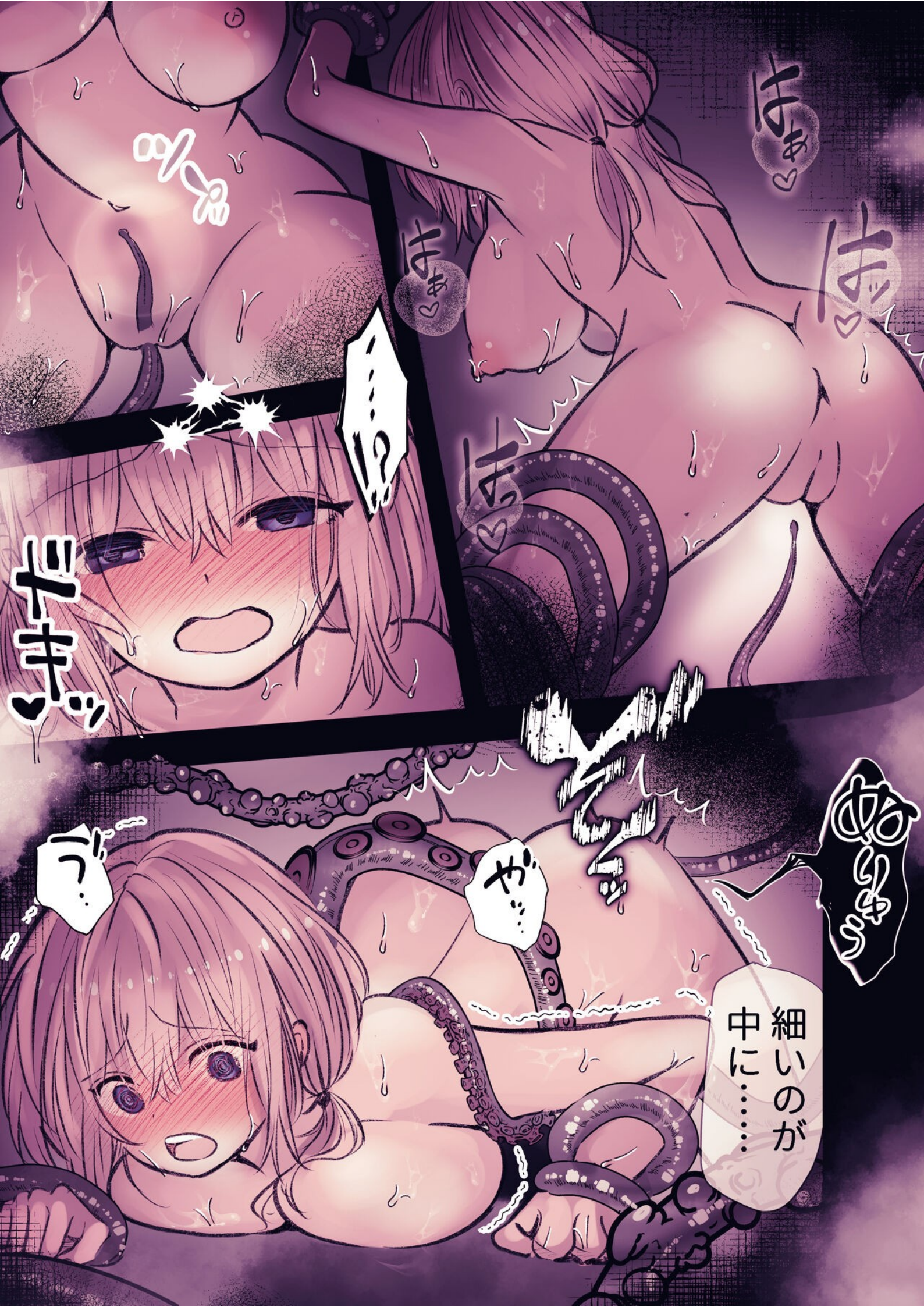
おはよう



おはよう

おはよう





はぁ♡

は♡

はぁ♡

は♡

エーッ♡

は？

っ♡

や...

ぬり♡

細いのが  
中に...





あ、

あ、う

あ、う...

あ、う...

あ、う...

あ、う...

浅いとこしか  
きてくれない...っ

もっと奥  
もっと太いの

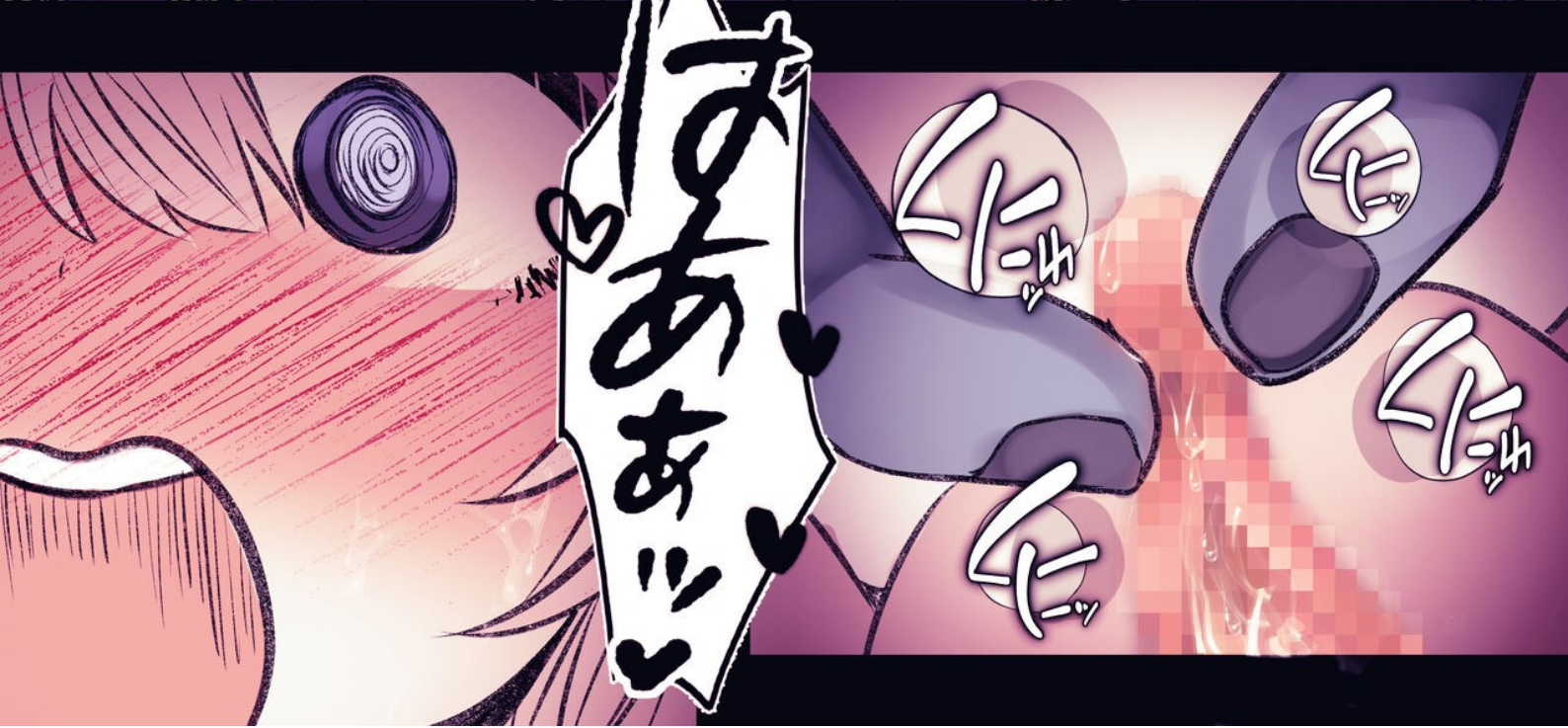
足りない

足りない

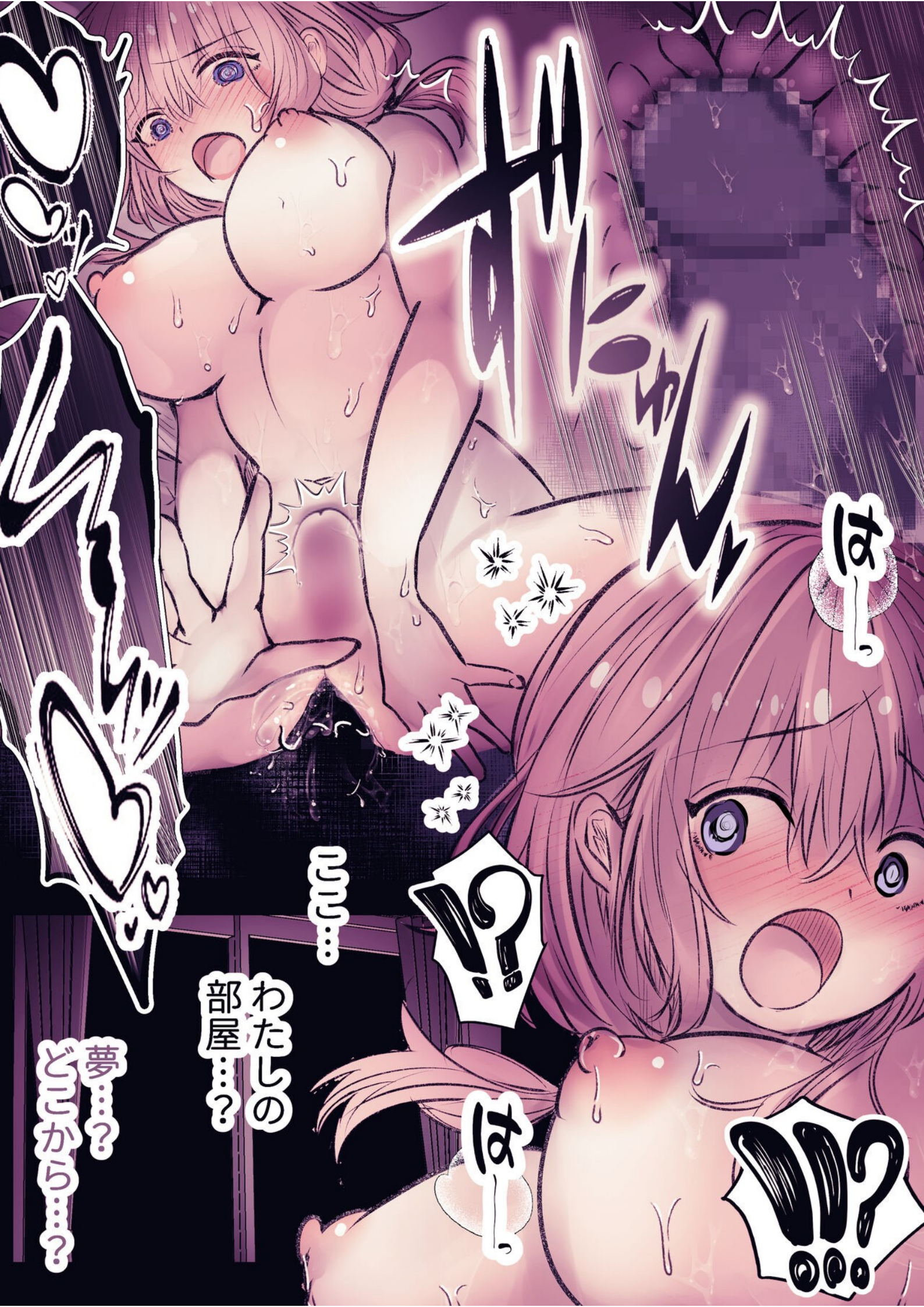
足りない

こんな  
細いのじゃ









オオオオ

は

!?

!!?

は

ううう...

わたしの  
部屋...?

夢...?  
どこから...?

















あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

嫌…  
嫌なのに…

いや……

何で……？

あゝ♡

こんなに  
気持ちいい…のに…

♡♡♡

ぽん

ぽん

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡



都内の女子大学生  
篠原千春さんが  
先月末に

16:03

XXX-XXX-XXXX

X月XX日午後に  
友人と別れて自宅に  
戻ったのを最後に

# 篠原千春

## 宅から姿消す

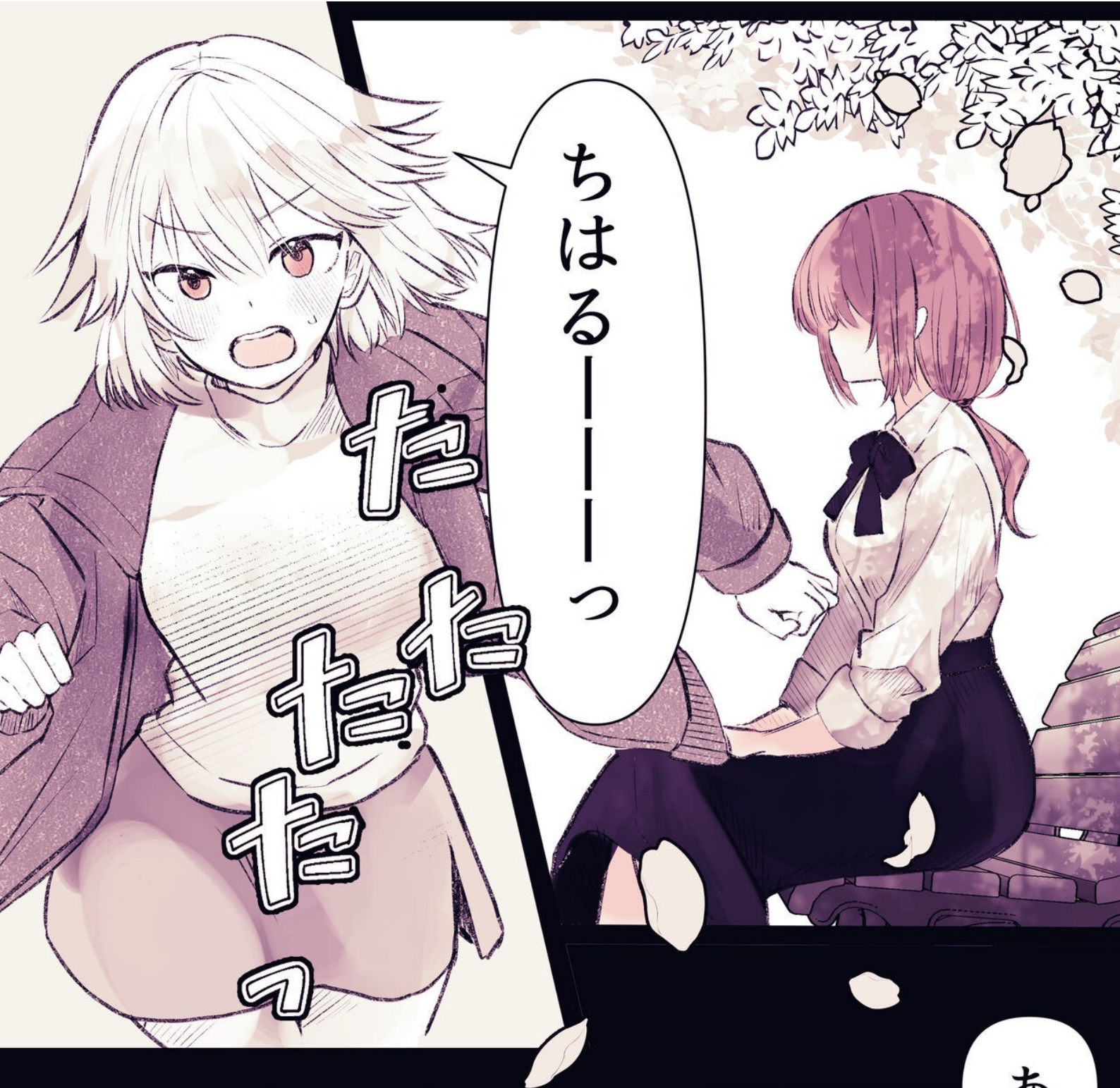
消息を絶った  
ということですよ。

警察は行方不明届を  
受理し情報提供を  
呼びかけ――









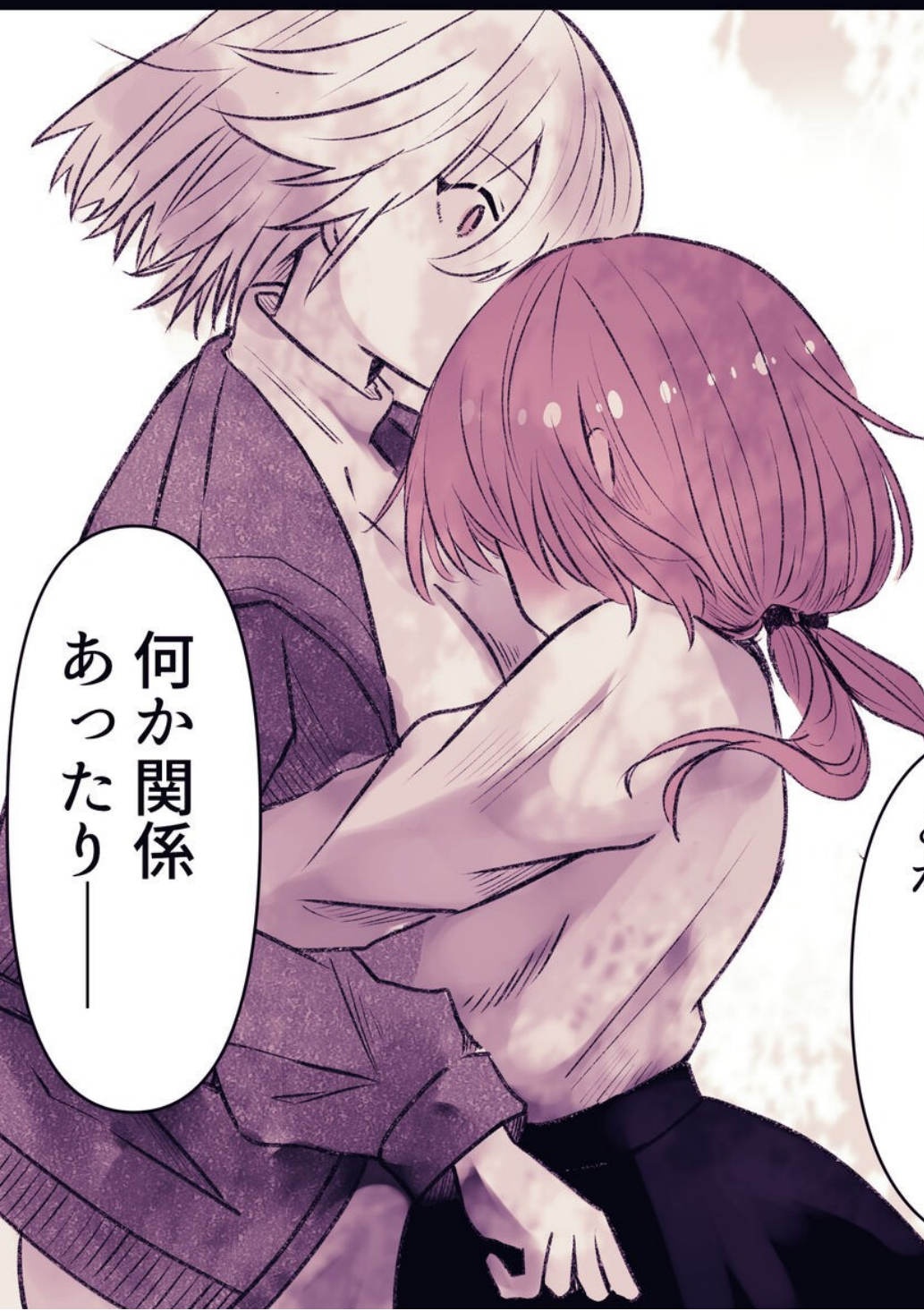


すっごく  
探したん  
だよ！

どこ行ってた  
二か月も！

警察にだって  
何度も行って

うん  
心配かけて  
ごめんね



何か関係  
あったり——



……千春  
ちよつと  
変だよ

もしかして  
最後の日に  
言ってた幽霊……  
とか





千春……？

幽霊なんて  
いる訳ない  
でしょ

あはは  
美奈子

全部  
勘違いだよ



すつごく  
良い部屋なの

だから  
遊びに来て  
欲しいな…